



長茶町 池田 裕二

明けましておめでどうございます。皆様にはご家族お揃いのうちに、ご健康にて新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

選挙による初めての本格的な政権交代により、「コンクリートから人へ」とわかりやすい理念の下、連日映像で繰り返された行政刷新会議による事業仕分けの攻防戦が、象徴的に、変化への予兆を感じさせつつありますが、我が国はどこへ向かおうとしているのか、未知との遭遇が想定外の混沌を産み出し、将来展望は未だ明確には見えて来ません。しかしながら、地球温暖化と人口減少下での少子高齢化、そして生活・文化・伝統までがグローバル化に翻弄されており、不都合な現実も直視しなければなりません。一方、国の一般会計予算は今年度も百兆円を超え、税収は40兆円を下回ることが確定され、国の借金は年度末に九百兆円を超えるとの見通しの中で、「年越し派遣村」を繰り返さないことと円高不況の回避を最優先に、緊急経済対策と追加の国債発行が決定されました。

新政権は家計への直接給付により可処分所得を増やし、消費を拡大することで内需主導の経済成長を実現させるとの戦略を掲げていますが、成長だけがすべて

を解決するのでしょうか。エコという錦の御旗の下に、真新しい製品が捨てられ、借金をしてまで商品を買って続けることが幸福なのか、真の豊かさなのか。かつて、日本製品は品質が良く長持ちしたし、ものを大切にすることが美德とされてきました。景気は気の問題だからとも云いながら、デフレ宣言がされました。確かに、今生きる費用は安く、何となく利便的な浪費に誘われますが、先の人生を考えると何もかも高く、余り無駄なお金は使えないと不安になってしまいます。なにより、お年寄りや子どもや障がいをもつ人など、弱い人を大事にし、きちんと税金を払った人が安心して老後を迎えることができる社会が待たれます。

この4年間、毎年新しい首相と共に新年を迎えました。社会経済情勢の変化は余りに振れ幅が大きく、混沌が続いていますが、誰も経験したことのない激動の時代であればこそ、先人が切り拓き、守り育ててきた郷土の豊かさと可能性の上に、共に育んできた協働のまちづくりという伝統をもう一度確認し、時代をしっかりと見据え、現実的な解決策を選択し、立ち竦むことなく、果敢に取り組みることが重要との思いを一層強くしており、これからのまちづくりの基本設計図となる第4期総合計画策定に向けて、町民の皆様のお寄せいただきたくお願い致しますと共に、本年が町民の皆様にとって平穏で幸多い年でありませうと、心よりご祈念申し上げます。

## 年頭のあいさつ

明けましておめでどうございます。皆様には、ご家族おそろいのうちに、ご健康にて新春をお迎えのことと拝察し、心からお慶び申し上げます。一昨年から続く我が国経済の低迷は、円高・株安のもとで依然として先行きの見えない状況にあり、「デフレスパイラル」が危機感をもつてマスコミにもとりあげられるようになっております。

こうした中で、昨年、国政においては、政権が変わると言う大きな出来事がありました。新政権が掲げる「コンクリートから人へ」と言われる政策の転換により、公共事業の減少は避けられず、地方交付税や補助金制度の今後の行方なども相まって、地方自治体の財政にも少なからず影響があるものと予想されます。また、国に対する要請、陳情などについても、これまでと全く変わるものになるなど、議会としても町と連携をとりながら、適切な対応を行行かなければならないと考えております。

子ども手当の創設、高校授業料の実質無償化、後期高齢者医療制度の廃止など、多岐にわたる国の新たな政策展開や、税制度の改革によって、私たち町民のくらしがどのように変わって行くのか、すぐに見通すことは出来ませんが、議会としては、常に町民みなさまの安全・安心を第一として、その役割を果たして参りたいと思っております。

性化するため、一般質問での一問一答方式を引き続き試行中のほか、すでに実施している各公民館での議事録の開示に加え、ホームページへの掲載を実施しました。町民の皆様と情報の共有を図り、町民参加の開かれた議会づくりをめざして参りたいと考えております。

議会改革の大きな課題の一つでもあります。議会内部で議論をすすめておりますが、昨年12月には「議員定数を12名以内に削減を求め」陳情が提出されました。町民みなさんの代弁者としての議員の数は何名が良いのか、しっかりと議論しなければなりません。

本年は基本計画である第4期総合計画策定の年です。本町の将来の姿をしっかりと描くよう、議会としての役割を果たし、これまで同様、皆様ご安心して暮らせるまちづくりに議員一同全力を尽くして参ります。本年が本町にとって実り多い年でありませうと願ひ、あわせて町民皆様のご健康、ご多幸をこころからお祈り申し上げます。



長茶町議会 鈴木 裕美



## 平成21年度 標茶町各会計予算の概要

(単位：千円)

会 計 別	補正前予算額 (A)	12月補正額 (B)	補正後予算額 (C)=(A)+(B)	
一 般 会 計	10,389,498	48,400	10,437,898	
特 別 会 計	国民健康保険事業 事業 勘 定	1,316,483	3,743	1,320,226
	下 水 道 事 業	669,477	△ 3,840	665,637
	老 人 保 健	16,231		16,231
	介 護 保 険 事 業	1,244,109	8,132	1,252,241
	後 期 高 齢 者 医 療	91,926		91,926
合 計	13,727,724	56,435	13,784,159	

(△は減額)

### 《企業会計》

病院事業	1,105,753	0	1,105,753	歳入
	1,215,135	0	1,215,135	歳出
上水道事業	200,771	△ 311	200,460	歳入
	216,505	△ 311	216,194	歳出

(単位：千円)

区 分	主な補正予算	事業費	内 容
総 務 費	自治会振興補助金	10,856	補助金
民 生 費	障害者自立支援対策推進事業	1,592	
	介護保険事業会計繰出金	△ 8,003	
衛 生 費	新型インフルエンザ対策費	4,663	ワクチン接種補助金他
農 林 水 産 業 費	育成牧場経費	27,000	飼料費、備品購入費
	畜産担い手育成総合整備事業	△ 68,552	4 地区
土 木 費	道路台帳補正委託料	4,170	
	除雪対策	102,444	
	道路維持車両購入	4,000	
	標茶中茶安別線道路改良事業	△ 3,356	
消 防 費	釧路北部消防事務組合負担金	△ 13,344	
	防災情報通信設備整備事業	9,587	
教 育 費	スポーツ振興補助金	324	
諸 支 出 金	下水道事業特別会計繰出金	2,860	
職 員 費	職員給与費等	△ 28,951	

(△は減額)

# 補正予算が可決

第4回定例町議会において、平成21年度各会計の補正予算が可決されました。一般会計の補正予算は、除雪対策、防災情報通信設備整備事業、新型インフルエンザ対策費などで、4千840万円を追加し、予算額は104億3千789万8千円となりました。

そのほか各会計の補正予算額および一般会計の主な補正内容は次のとおりです。

## 2010年世界農林業センサスにご協力ください

平成22年2月1日実施

平成22年2月1日に、全国一斉で“農林業の国勢調査”といわれる「2010年世界農林業センサス」が実施されます。

この調査は、今後の農林業政策に役立てるため5年ごとに実施される極めて大切な調査です。

1月中旬から農林業を営んでいるみなさんのところに調査員が訪問し、調査票に農林業の経営状況などの記入をお願いしますので、ご協力をお願いします。

■問い合わせ／役場企画財政課企画調整係（2階⑩番窓口☎485-2111内線222）

